



大規模油流出に備えた石油産業と油濁対応 組織の協力

OSRL ダレン・ウォーターマン



OSRLについて 業界協同組織

マコンド油井事故以前

1981  OSSC 設立	1984  5社による グループ 結成	1993  EARL 設立	2000  グローバル な提携	2005  グローバルな 対応ネット ワーク の構築
2006  OSRLとEARL が正式合併	2007  OSRL バーレーン基地 設置 	2010 マコンド油井事故 業界の要求が変化 OSRLは能力の大幅強化の準備		

対応の進化

1985 OSRL設立 2016 対応能力の強化



期待の変化

果敢な行動

信頼回復

実行

対応能力の強化

業界の要求の変化

ICSの強化

積極的な採用活動

OSPRAG キャッピング・スタック

3D モデリング

油処理剤の備蓄

アメリカ大陸をカバー

スタッフの幅広いスキルの配置

SWIS基地始動

航空機

悪天候対応能力

封じ込め

オフセット装置

GOWRS

SME強化

Diagram labels: Buoyancy elements, Cordan joint, Buoyancy tank, Cappingstack

2015年のOSRL



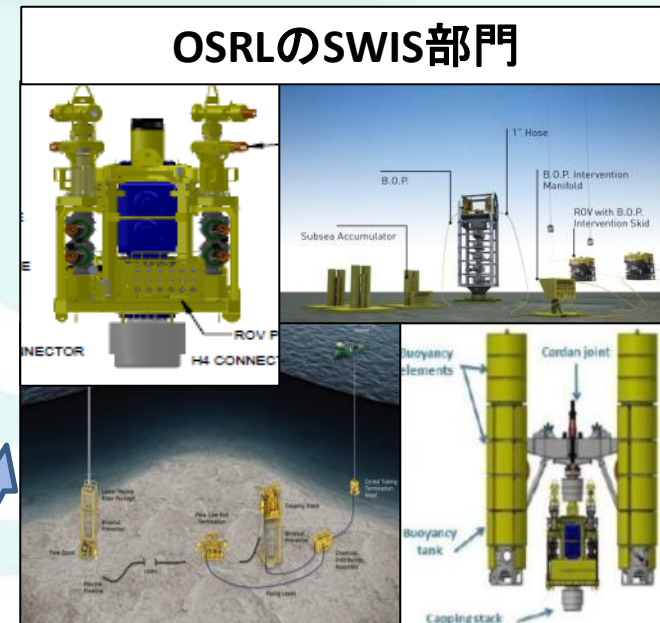
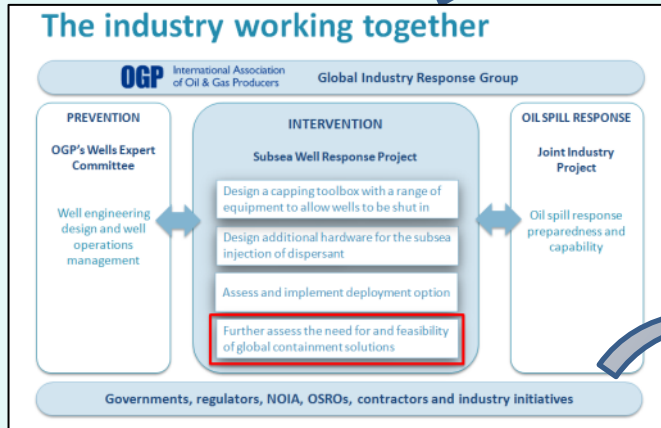
- ▶ 業界出資による最大の国際的協同組織
- ▶ 石油・ガスの生産・輸送企業46社が所有
- ▶ 世界中で効果的な訓練と対応を実施



この他に100社以上の準会員

業界の最新協同事例 — 海底油井介入システム (SWIS)

SWISの進化



OSRLのグローバル対応能力



-  SWIS キャッピングスタック装置
-  OSPRAG キャッピング装置
-  海底事故対応ツールキット
-  油処理剤の備蓄(暫定)
-  専用航空機
-  OSRL作業基地

※OSPRAG : Oil Spill Prevention and Response Advisory Group

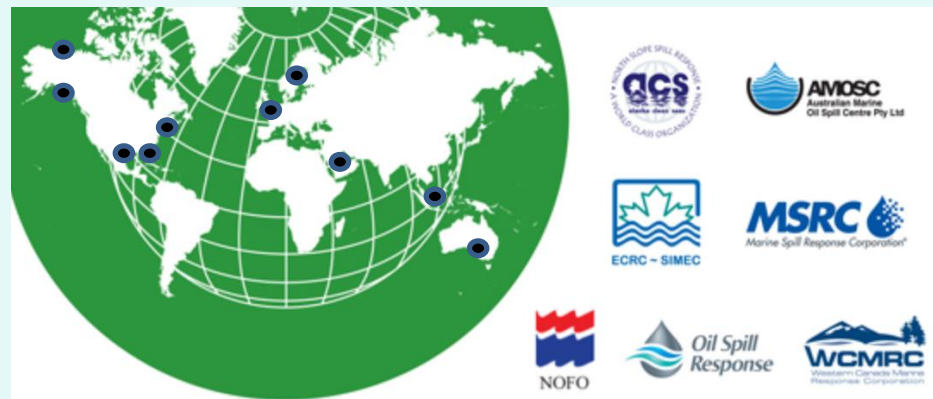


協力体制について



グローバル・レスポンス・ネットワーク (GRN)

- ▶ グローバル・レスポンス・ネットワークは、以下の活動を通じて個々の油流出事故対応組織の遂行能力と実効性の向上を目指すフォーラムである。



- ▶ メンバー間の強固な協力関係を促進する
- ▶ 運営に関する情報や対応技術を遣り取りし、優良事例を共有するための、機能的なチームを確立する
- ▶ 油流出事故対応の業界基準を強化するために、石油会社及びその他の利害関係者を支援する



グローバル・レスポンス・ネットワーク (GRN)

GRN作業チーム

- ▶ GRN作業チームは、事故対応に関連する主要な機能分野の専門家で構成され、情報交換のフォーラムを提供している
 - ▶ 油処理剤
 - ▶ 現場燃焼
 - ▶ 遠隔監視
 - ▶ 氷海域
 - ▶ 浅海域／沿岸
 - ▶ 沖合

作業チーム (OT) の目的:

- ▶ 流出事故対応の主要なGRN OSROあるいは流出当事者に対して専門技術を提供するために、OTメンバーが活動できるようにする
- ▶ 世界中のGRNメンバーから調達できる専用対応資源のリストを保有する
- ▶ 作業の専門機能に関する、情報、優良事例、共通の教訓を、OTメンバー間で交換し合う
- ▶ 業界の取り組みと連携する、またGRN執行委員会の要請・承認を受けて情報を提供する
- ▶ 業界基準を推進・改善する
- ▶ GRN執行委員会に対し、年2回状況報告を行う

業界技術諮問委員会 (ITAC)

- ▶ ITACは20年以上存続する業界フォーラムであるが、マコンド油井事故以後、役割を変えた—即ち、油流出への対応を強化するための情報及び優れた技術的方法を共有するべく、様々な利害関係者が一堂に会する機会を提供することを目指している
- ▶ ITACは、毎年世界各地域で会合を行っているが、これはグローバルにメンバーが存在することの表れである

ITAC

▶ ITACの概要

- ▶ 進行中の技術開発に、多くの利害関係者が関与し或は影響を受けているが、行われている様々なプロジェクトの全体像を把握している人はほとんどいない。この事実を踏まえた上で、事故対応組織に知識を共有させることがITACの役割である

▶ 幅広い分野からの参画

- ▶ 石油・ガス業界
- ▶ 事故対応組織
- ▶ 学界
- ▶ その他の科学技術関連組織

地域業界技術諮問グループ(RITAG)



中海石油环保服务(天津)有限公司
China Offshore Environmental Service Ltd.



Korea Marine Environment
Management Corporation



Oil Industry
Environmental
Safety Group
Association



Oil Spill Response

RITAG

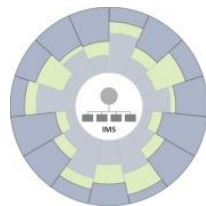
- ▶ RITAGの方針は、アジアの事故対応組織が技術的な知識や油流出事故対応の経験、優良事例を共有し、業界の「統合された段階的対応の方針」を推進し、メンバー間の協力を容易にするための拠り所を提供することである



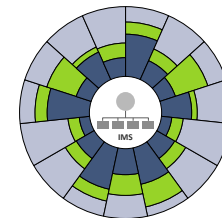
ティア 1



ティア 2



ティア 3



統合された
段階的対応

RITAGの主な役割

油流出、技術開発、訓練実施
に関する全般的なアドバイスや情報を、
他のRITAGメンバーと率直な意見
交換をする

RITAGが企画する関連
のワークグループや
プロジェクトに参加する

- 知識の共有
- 相互理解
- 緊密な関係
- 能力の強化

経験を適宜共有する

合同の訓練・演習に適宜情報を
提供する

地域OSRO二国間協定



▶ 利点

- ▶ 情報共有
- ▶ 合同の訓練と演習
- ▶ 事故対応における協力
- ▶ 能力強化

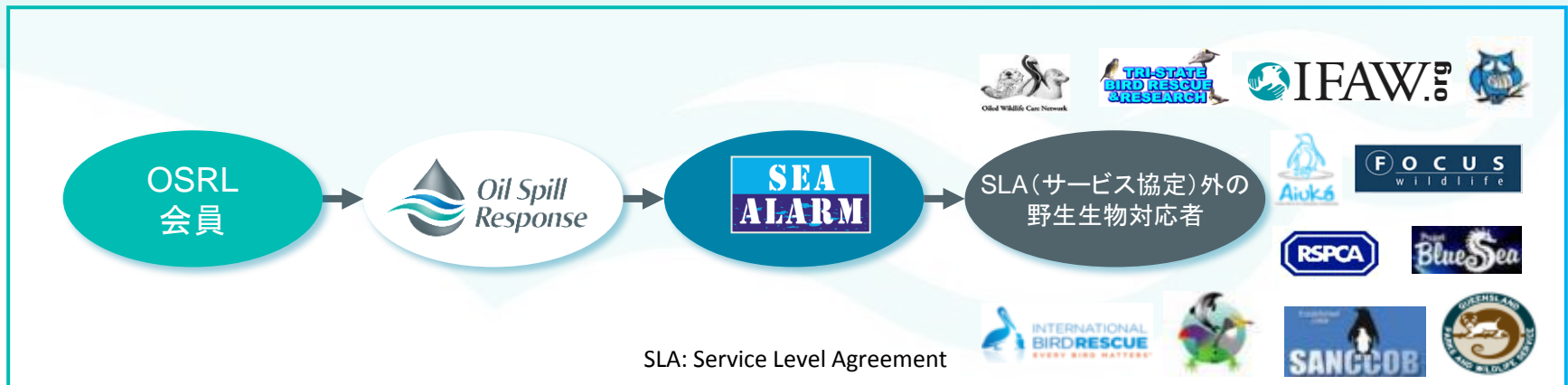
野生生物への対応

準備、対応、擁護



- ▶ 365日24時間の事故対応アドバイス
- ▶ 専門家へのアクセス
- ▶ OSRL基地の資機材

- ▶ 野生生物に関する対応計画、訓練、演習
- ▶ 擁護活動



油汚染野生生物へのグローバル対応システム (GOWRS)

JIPフェーズ2資金提供

- ▶ GOWRSプロジェクトの全般的な目標は、真に強力な油汚染野生生物へのグローバルな対応システムを精査・構築することである

目的:

- ▶ ティア-3の油汚染野生生物への対応について、世界中で365日24時間、サービスを利用できること
- ▶ 有能な野生生物対応専門家チームが、進展する油汚染野生生物シナリオの初期段階を支援する準備ができていること
- ▶ 油汚染野生生物の修復及び保護のための業界最高の基準が用意されて利用でき、対応において適用されること
- ▶ 世界中の石油業界関係者、政府、野生生物対応者への訓練、及び世界の野生生物対応能力の増強のために、先進的な業界基準が使用されること



協力体制





ご清聴ありがとうございました